

# 2020年3月期 第2四半期 決算説明会

---

2019年11月14日

**TDCソフト株式会社**

代表取締役社長

**小林 裕嘉**

## 2020年3月期第2四半期の実績

- ・売上については好調な金融分野が牽引し、増収。
- ・次世代型SI事業等に向けた取り組みは計画通りに進捗。

## トピックス

- **中期経営計画『Shift to the Smart SI』開始**
  - ・ アジャイル関連事業：  
米国Scaled Agile, Inc.とのパートナー契約を締結
  - ・ セキュリティ関連事業：  
ネットワークセキュリティ分野に優位性を持つLTE-X社と業務資本提携
  - ・ 経営資源最適化に向け子会社2社を統合し、TDCフューテックとしてスタート

# 目次

- 中期経営計画、2019年度計画
- 2020年3月期第2四半期の決算概況
- 分野別の状況
- 次世代型システムインテグレーターに向けて
- 2020年3月期通期業績予想

## 次世代型システムインテグレーターを目指す

### 高付加価値SIサービスの追求

- DX牽引組織を新設、推進力を強化
- 重点戦略分野として取り組む  
アジャイル関連事業及びセキュリティ  
関連事業を拡大

### SIモデル変革の推進

- 社長直轄の専門組織を新設
- 他社とのアライアンス等によるエコ  
システム構築を推進

FY2021に売上高300億円  
うち高付加価値SIサービスを20%程度に拡大

**継続的に成長するための基盤作りに注力**

# 決算概況(連結)

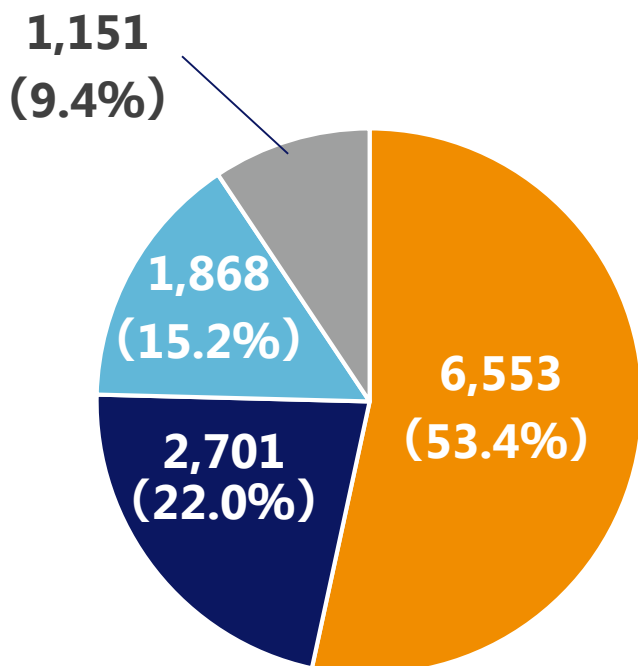
(単位：百万円)	2020年3月期 第2四半期	利益率	増減率	2019年3月期 第2四半期
売上高	13,128	-	+7.0%	12,274
売上総利益	2,580	19.7%	+0.6%	2,565
営業利益	1,019	7.8%	△8.1%	1,109
経常利益	1,038	7.9%	△12.3%	1,183
当期純利益	687	5.2%	△11.9%	780

## 【ハイライト】

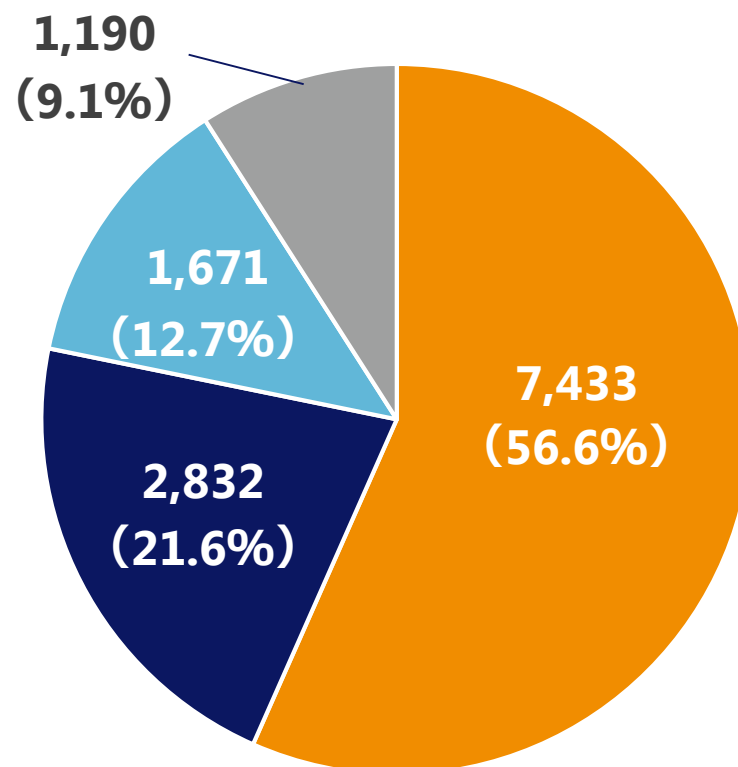
- 売上高は好調な金融分野が牽引し増収
- 継続的な成長に向けた体制を構築するとともに、重点戦略分野を中心とした高付加価値ビジネスへの投資を積極的に推進。  
当第2四半期の利益面は減収も、当初計画通りに推移。

# 分野別売上高概況

2019年3月期第2四半期  
12,274百万円



2020年3月期第2四半期  
13,128百万円



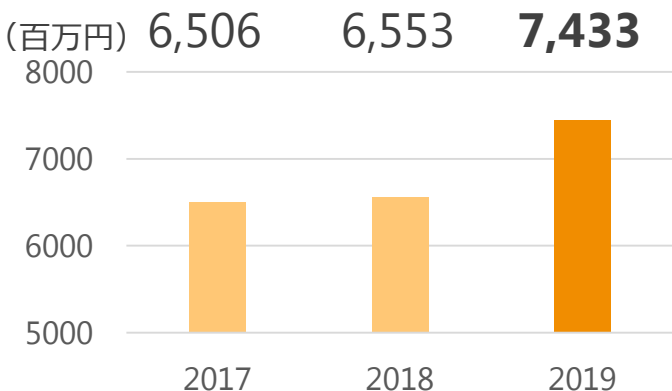
金融ITソリューション分野

インフラ・ネットワークソリューション分野

公共法人ITソリューション分野

パッケージソリューション分野

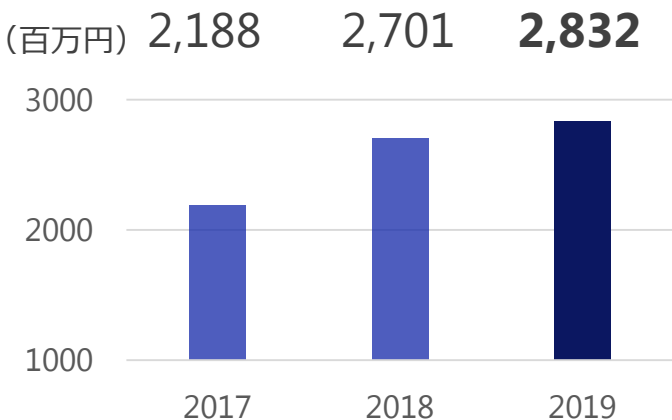
## 金融ITソリューション分野



保険業、クレジット業向け大型システム開発案件が堅調に推移

前年同期比13.4%増収

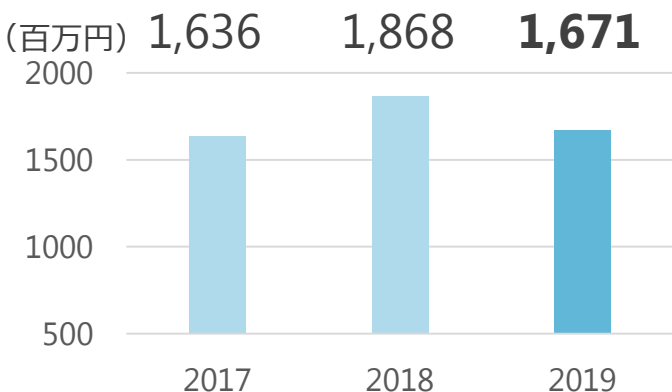
## 公共法人ITソリューション分野



製造・流通業向けの開発案件等が堅調に推移

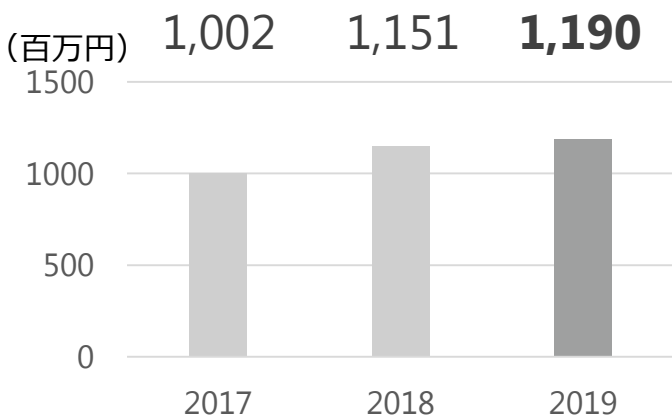
前年同期比4.8%増収

## インフラ・ネットワークソリューション分野



製造業向けのITインフラ構築案件が堅調に推移する中、ネットワークインテグレーション分野が減少  
前年同期比10.5%減収

## パッケージソリューション分野



自社クラウドサービスやCRM等のソリューションが堅調に推移  
前年同期比3.4%増収



## 継続的な成長基盤を構築するために組織を新設

### デジタルテクノロジー本部

ハイスキル人材を集約し、事業部門と連携してDX等の高付加価値ビジネスを牽引する  
・重点戦略分野の事業を推進（アジャイル関連事業／セキュリティ関連事業）

### ビジネスイノベーション本部

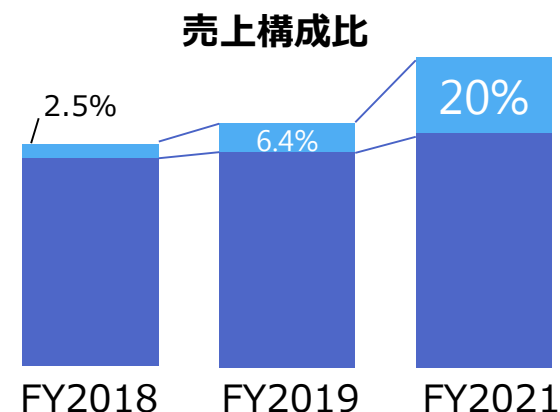
M&Aやベンチャーキャピタルとのオープンイノベーション活動を行う  
・米国SAI社とパートナー契約を締結 ・LTE-X社との業務資本提携を締結

### スマートSI推進室

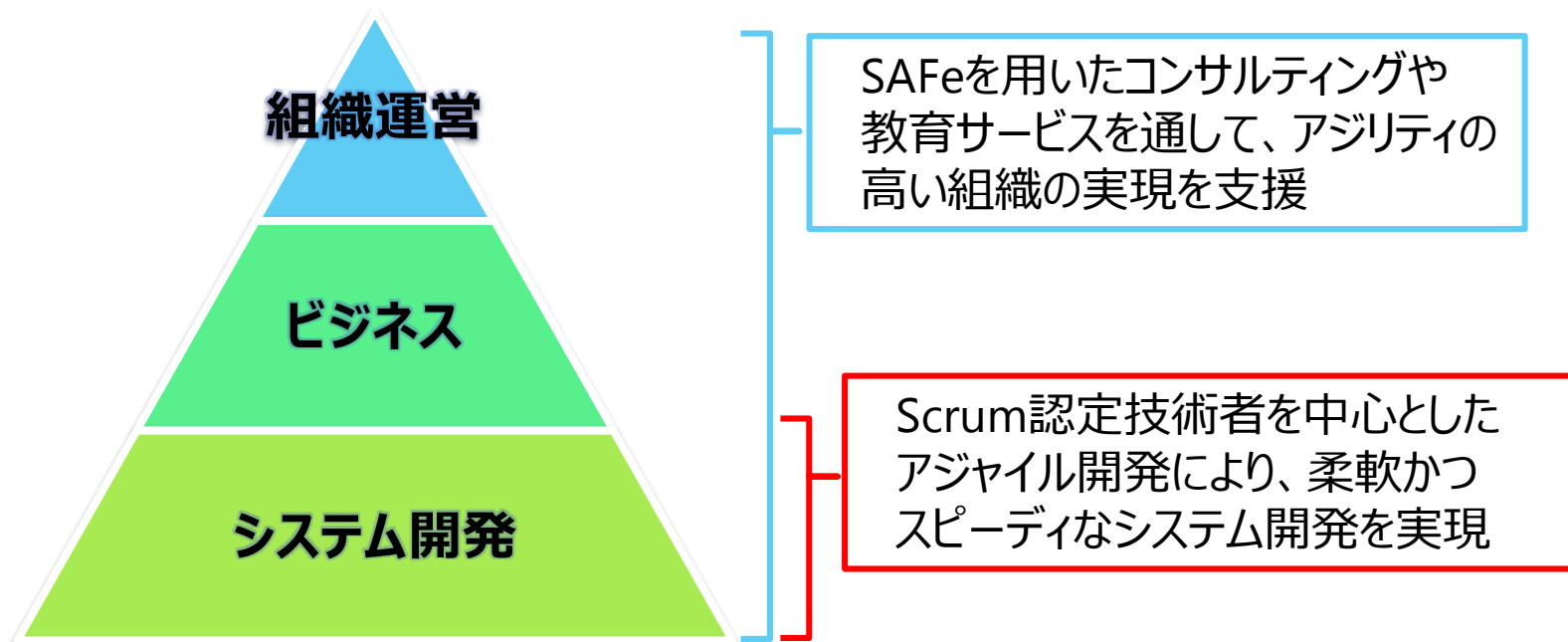
自動化などを用いた均質で効率的なプロジェクト運営手法の確立や、ハイスキル人材のシェアリングなど、従来の枠組みからの変革を推進し、当社独自のSIモデルを構築する

高付加価値SIサービスは売上構成比6.4%に拡大  
(計画比112%)

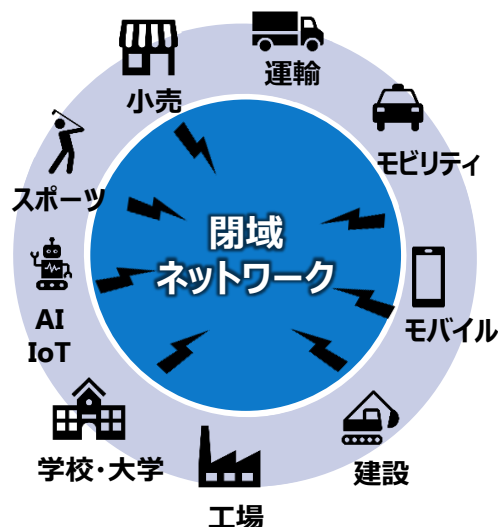
3年後に20%程度まで拡大を目指す



- 大規模アジャイルフレームワークSAFeを提供する米国Scaled Agile, Inc.とパートナー契約を締結し、エンタープライズアジャイル市場をリード
- アジャイル技術者は50名規模へ増員（うちScrum認定技術者23名）
- 認定技術者を活用したアジャイル関連の教育サービスを開始
- 3年後の売上目標（20億円）に向け、計画通り進捗（前期比58%増）



- 本格的なIoT/5G時代の到来に向け、ローカル5G市場における競争優位性を確立するため、ネットワークセキュリティ分野に強みを持つLTE-X社と業務資本提携を開始



- お客様の「安心・安全」を実現するセキュリティーサービスを新たにメニュー化し、SI事業における付加価値を向上。

診断・分析  
Analysys

対策  
Solution

ガバナンス  
Governance

監視・監査  
Audit

システムライフサイクルを意識したトータルセキュリティソリューション

# 2020年3月期業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 業績予想	利益率	増減率	2019年3月期 実績
売上高	27,000	-	+1.5%	26,590
営業利益	2,200	8.1%	+2.0%	2,157
経常利益	2,250	8.3%	+0.1%	2,248
当期純利益	1,490	5.5%	+1.4%	1,469
EPS(円)	61.85	-	+1.4%	61.02

中期経営計画に基づき、事業の高付加価値化及びSIモデルの変革に向けた投資施策を推進。

2020年3月期第 2 四半期

決算内容

執行役員

経理部長

足立 薫彦

# 目次

- 損益計算書
- 売上高分析
- 営業利益分析
- 貸借対照表
- キャッシュフロー計算書

# 損益計算書

(単位：百万円)	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減率
<b>売上高</b>	<b>13,128</b>	12,274	+7.0%
<b>労務費</b>	<b>4,902</b>	4,623	+6.0%
<b>外注費</b>	<b>5,589</b>	5,047	+10.7%
<b>その他経費</b>	<b>418</b>	375	+11.4%
<b>仕掛増減高</b>	<b>361</b>	337	+7.1%
<b>売上原価</b>	<b>10,548</b>	9,709	+8.6%
<b>売上総利益</b>	<b>2,580</b>	2,565	+0.6%
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>1,560</b>	1,455	+7.2%
<b>営業利益</b>	<b>1,019</b>	1,109	△8.1%
<b>営業外収支</b>	<b>28</b>	75	△62.9%
<b>経常利益</b>	<b>1,038</b>	1,183	△12.3%
<b>税引前当期利益</b>	<b>1,038</b>	1,183	△12.3%
<b>当期純利益</b>	<b>687</b>	780	△11.9%
<b>EPS</b>	<b>28.53</b>	32.39	△11.9%

2018年10月1日付けで普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「EPS」を算定しております。

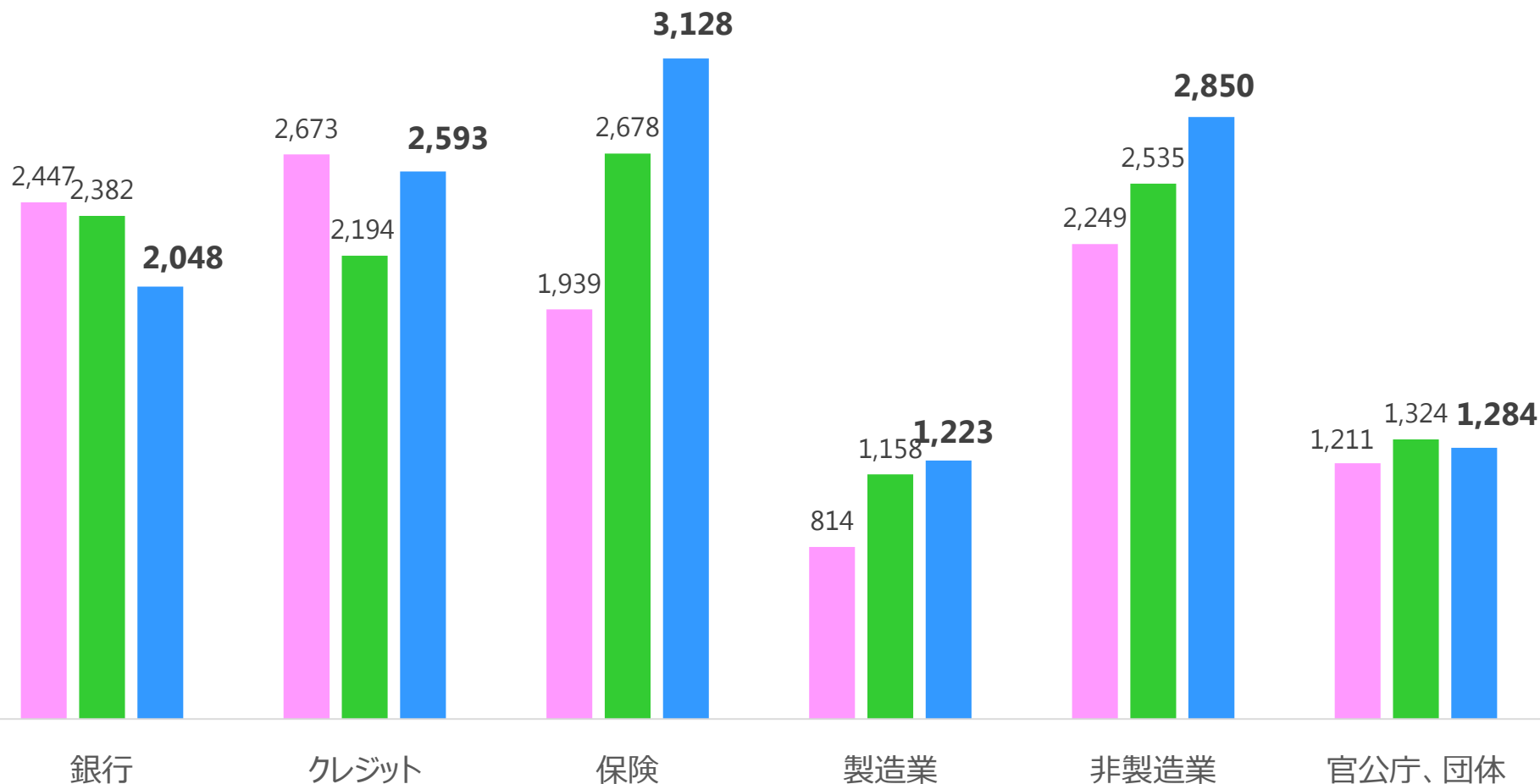
# 顧客業種別売上高概況

(百万円)

2018年3月期  
第2四半期

2019年3月期  
第2四半期

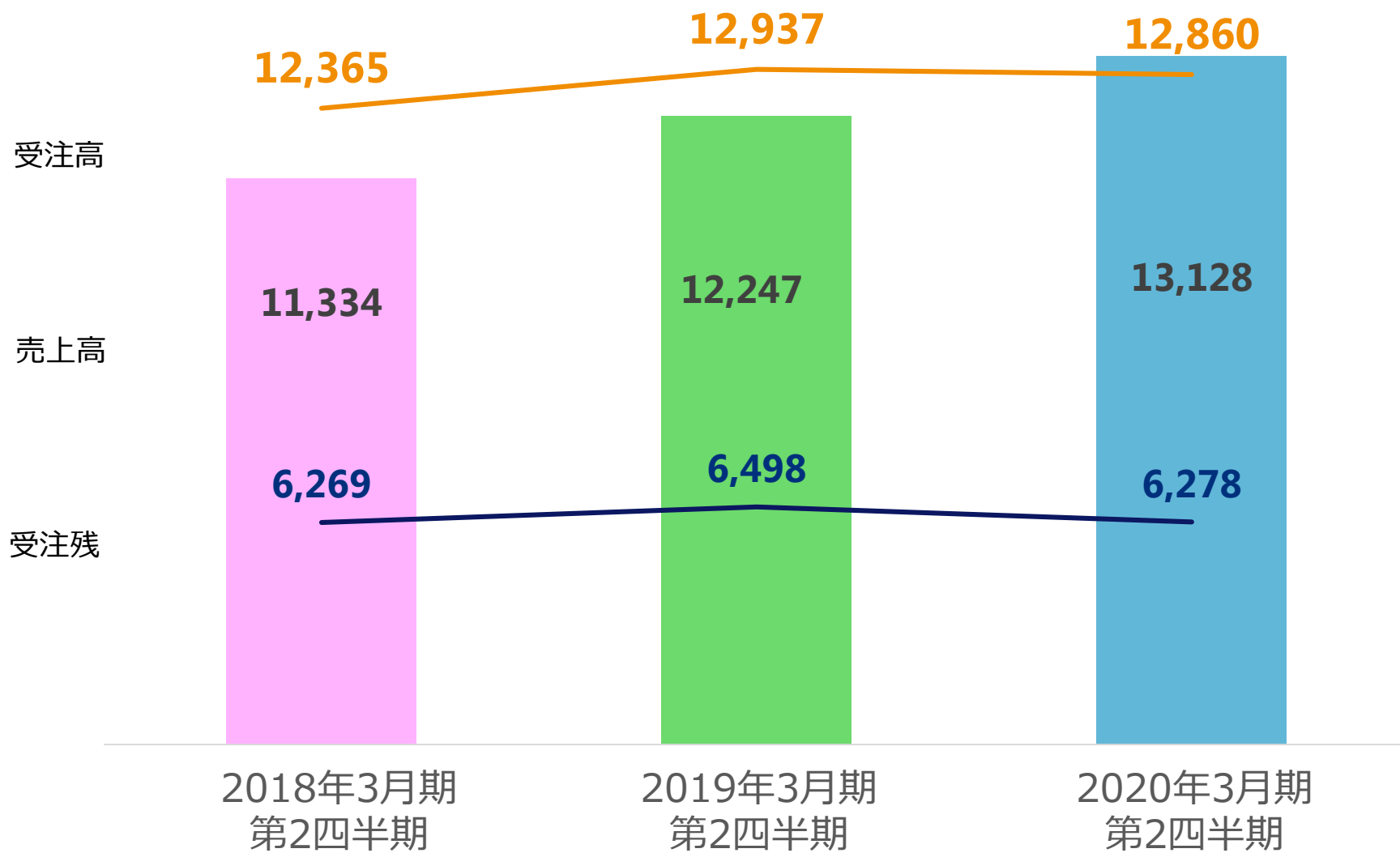
2020年3月期  
第2四半期





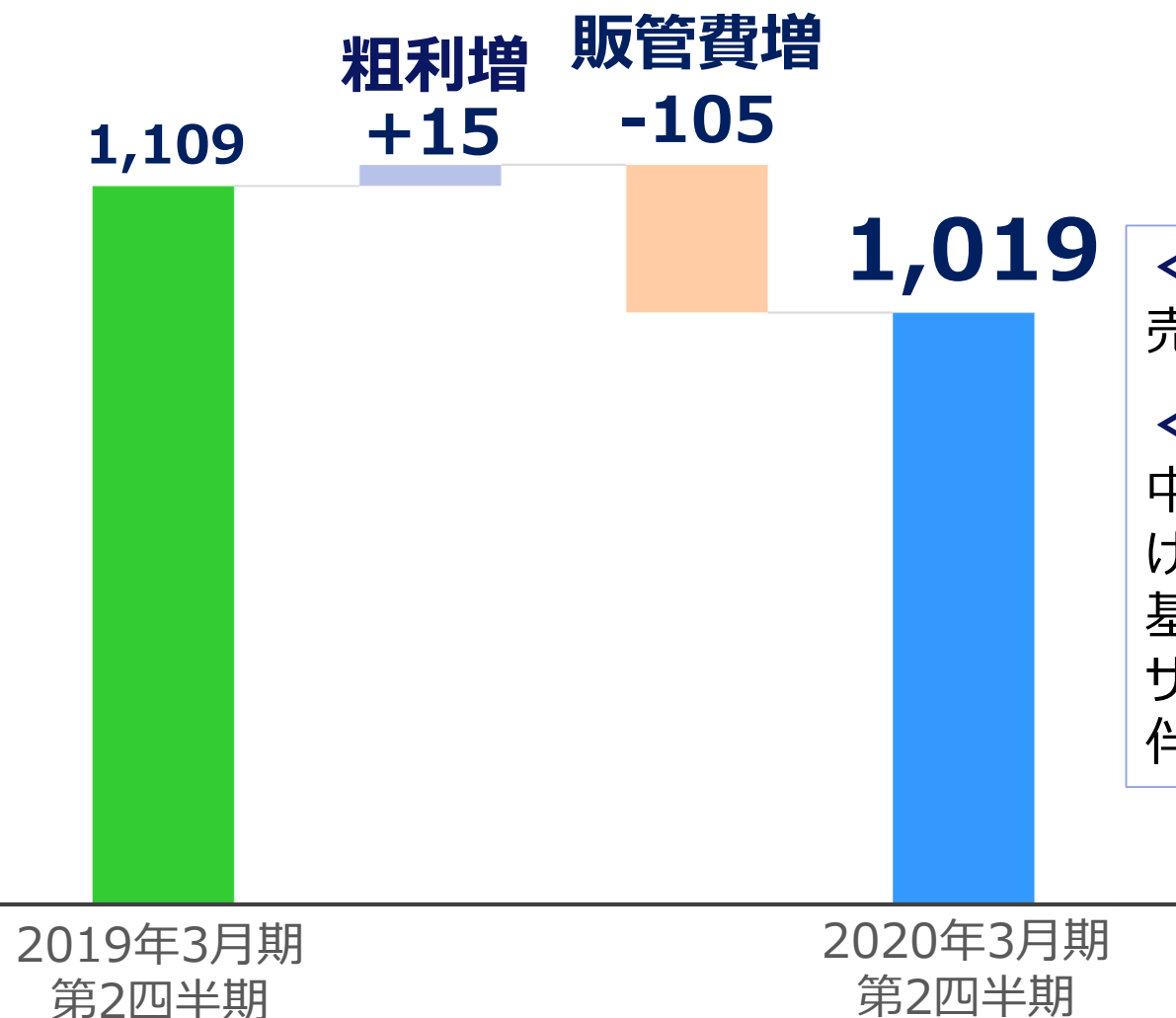
# 受注高・受注残高の状況

(百万円)



# 営業利益分析

(百万円)



## <粗利益>

売上高の増加に伴い増加

## <販売管理費>

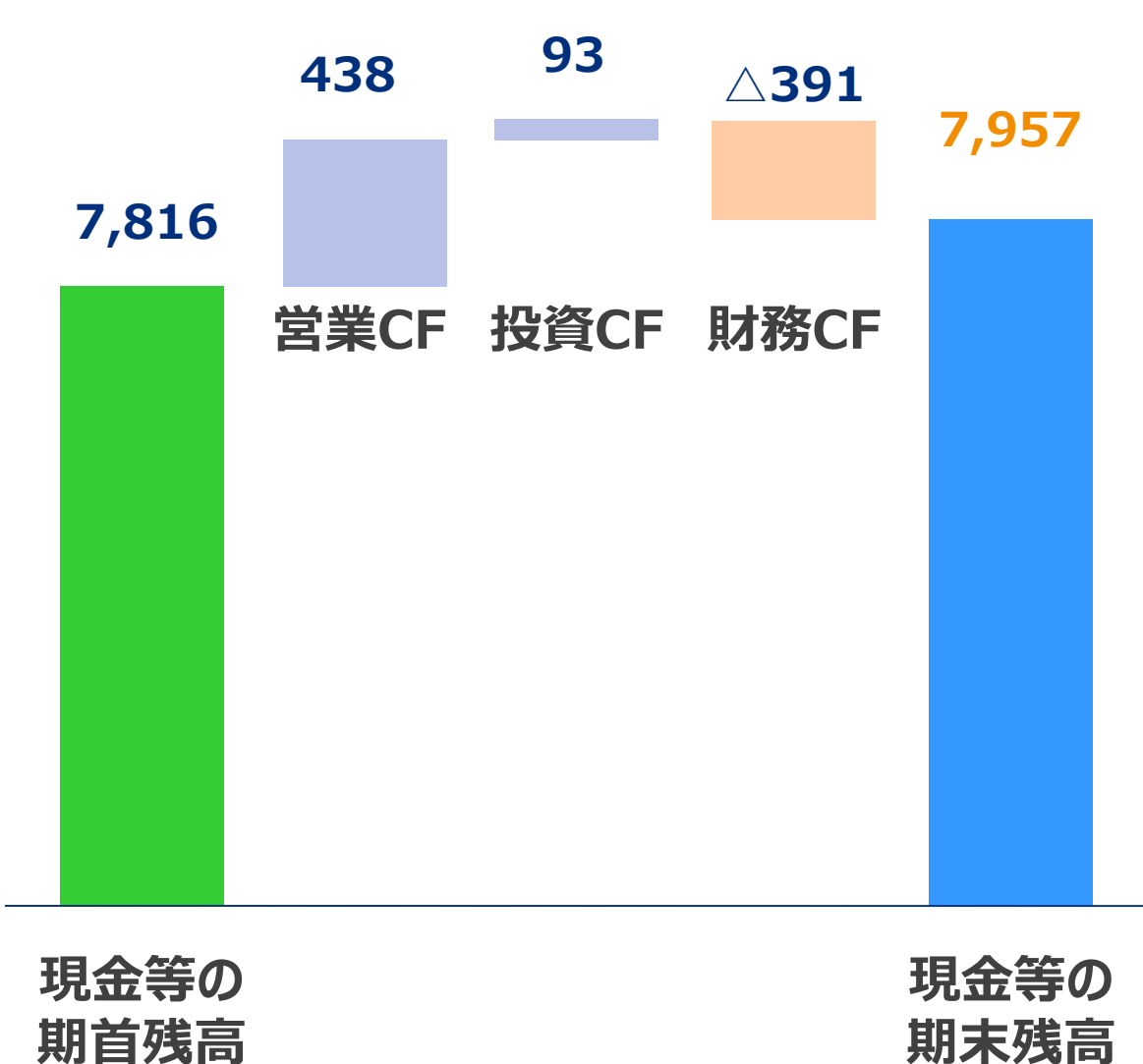
中期経営計画の実現に向け、継続的に成長するための基盤作りや、高付加価値SIサービス創出に対する投資に伴い増加

# 貸借対照表

(単位：百万円)		2020年3月期 第2四半期末	2019年3月期末	増減率
<b>資産合計</b>		<b>15,740</b>	16,353	-3.7%
	流動資産	<b>12,597</b>	12,930	-2.6%
	固定資産	<b>3,143</b>	3,422	-8.2%
<b>負債合計</b>		<b>4,239</b>	4,887	-13.3%
	流動負債	<b>4,053</b>	4,717	-14.1%
	固定負債	<b>185</b>	169	+9.5%
<b>純資産合計</b>		<b>11,501</b>	11,466	+0.3%
<b>負債純資産合計</b>		<b>15,740</b>	16,353	-3.7%
<b>自己資本比率</b>		<b>73.1%</b>	70.1%	-
<b>1株当たり純資産</b>		<b>477.25</b>	475.93	+0.3%

2018年10月1日付けで普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1 株当たり純資産」を算定しております。

# キャッシュフロー計算書



現金等の期首残高	7,816
税引前利益	1,038
減価償却費	44
売上債権	925
仕入債務	7
棚卸資産	△361
未払金	△183
未払費用	△398
その他	1
法人税等	△467
<b>営業CF</b>	<b>438</b>
有形固定資産取得	△54
投資有価証券の取得	△33
投資事業組合分配収入	15
利息及び配当金	22
事業譲渡による収入	142
その他	0
<b>投資CF</b>	<b>93</b>
短期借入金増減	150
配当金支払額	△538
その他	-
<b>財務CF</b>	<b>△391</b>
<b>現金等の期末残高</b>	<b>7,957</b>

# T D C ソフト株式会社

<https://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているT D Cソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。